

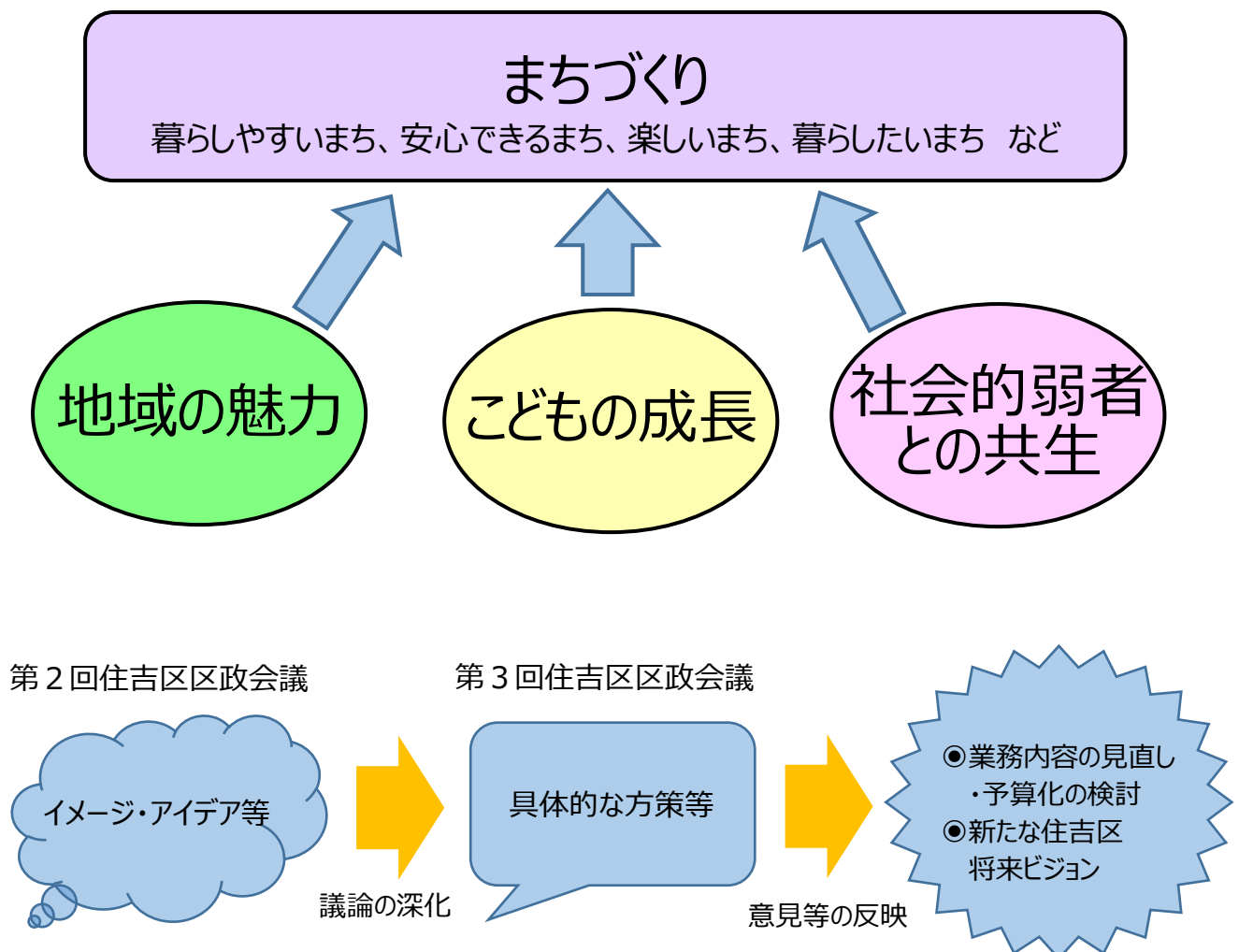
令和4年度 第2回住吉区区政会議 グループディスカッション

令和4年度第1回住吉区区政会議においてご議論をいただいた様々なご意見等から3つのテーマに絞らせていただき、グループディスカッションを通じて区政会議委員の皆様からより良い住吉区となるような、また、課題の解決につながるような具体的なアイデアや解決策等をご発言いただきたいと思います。

今回、令和4年度第2回住吉区区政会議では、3つのテーマに関して議論していただく内容を例示しておりますが、これにとらわれず区政会議委員の皆様から自由に広くご議論いただき、イメージやアイデア等を出していただければと存じます。

また、次回の令和4年度第3回住吉区区政会議において、引き続き、3つのテーマに関して出されたイメージやアイデア等から具体的に実施できるような方策等へと議論を深化できればと考えております。

いただいたアイデアや解決策等を基に、各種の事業を推進するにあたり、業務内容の見直しや予算化等の検討をするとともに、令和6年度に策定する新たな住吉区将来ビジョンに活かしていきます。



【グループディスカッションの方法】

- ◆区政会議委員（24名）を3グループに分けて、それぞれのテーマで自由討議を行います。
 - ・各グループに区政会議委員8名と区役所職員2名が入ります。（当日の出欠状況により、各グループの人数は変更が生じる場合があります。）
 - ・各グループのファシリテーター兼発表役を区政会議委員の中から1名決めていただきます。（手上げ方式）
 - ・各グループの書記役は区役所職員が行います。

- ◆ファシリテーター兼発表役（区政会議委員）が進行し、アイスブレイクを兼ねて各委員と区役所職員より順に自己紹介とともにまずは一言でも良いのでご意見等を述べてもらいます。
一巡後は、ファシリテーター兼発表役から、出されたご意見等に対して感じたことやその他のご意見等がないかをお伺いします。

- ◆区政会議委員、区役所職員に関わらずグループ内で一緒に意見交換していただき、ご意見等は実現性の有無を問いませんのでイメージやアイデア、解決策等を自由な視点でご発言ください。
ただし、他のご意見等の否定的・批判的なご発言はお控えください。

- ◆書記役（区役所職員）がご発言されたご意見等を簡潔に記録します。

- ◆最後に、ファシリテーター兼発表役（区政会議委員）から記録された内容より5分程度で発表していただきます。
※記録した用紙は議事録の参考としますので、会議終了後に政策推進課へお渡しください。
また、発表後に別のグループからご意見等をご発言いただく時間を設けます。（司会が進行）

【テーマ】

◆ Aグループ：「地域の魅力」について

- ◎参加する区役所職員：小林課長、山田課長（書記）

- ◎議論してもらう内容の例示（文化観光、地域活動、環境等）
 - ・住吉区のこれから良くなるだろうと思うポイント、住んでいて良かったと思うポイントについて（出されたポイントからどのようなことをしていきたいかなど）

- ◎関連する住吉区運営方針（令和4年度）
 - ・経営課題4 歴史・文化を活かした魅力あるまちづくり〔配付資料⑦ P.23～26〕
 - ・経営課題5 自律的に地域活動が展開される活力あるまちづくり〔配付資料⑦ P.27～30〕

◆ Bグループ：「こどもの成長」について

- ◎参加する区役所職員：小西課長、足立課長（書記）

- ◎議論してもらう内容の例示（こどもの見守り、支援等）
 - ・ネグレクト等の諸課題により不登校やひきこもりとなった子どもたちへの学習支援や相談、居場所づくりについて（子どもたちへのアプローチ方法のアイデアなど）
 - ・学校、先生、地域、保護者やスクールソーシャルワーカーの連携方法など（それぞれが持つ課題を少しでも解消できるようなアイデアなど）

- ◎関連する住吉区運営方針（令和4年度）
 - ・経営課題3 安心して子育てができ地域の実情にあった教育が展開されるまちづくり〔配付資料⑦ P.15～22〕

◆ Cグループ：「社会的弱者との共生」について

- ◎参加する区役所職員：田中課長、馬場課長（書記）

- ◎議論してもらう内容の例示（高齢者・障がい者等の見守り等）
 - ・地域における居住状況等の実態把握について（把握方法や見守りに関するアイデアなど）
 - ・防災訓練やイベントへの参加促進などについて（参加してもらうためのアイデアなど）

- ◎関連する住吉区運営方針（令和4年度）
 - ・経営課題2 高齢者、障がい者等だれもが心地よく暮らせるまちづくり〔配付資料⑦ P.10～14〕